

未来へ(東中だより)

第9号 令和3年9月15日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/>

生徒の主体的な取組—本校の強み 9月8日 生徒集会の様子から

2学期最初の生徒集会は、生徒会長の「前期の期末テストが近くなりました。テスト勉強を頑張ってください。」「1,2年生は、部活動の新人戦に向けて練習を頑張りましょう。」「新型コロナウイルスに負けないように、しっかり対策をしていきましょう。」という呼びかけから始まりました。

図書・広報部の今月の目標は、「学校のキャラクターを発表しよう」ですが、その計画通り、7月に募集して選考をしたキャラクター「セフ君とリーちゃん」が発表されました。1年生の井上さんのデザインということでした。今後いろんな場面でキャラクターが活躍して、楽しい学校生活にしてくれると期待をしています。

生活部からは、9月1日の防災の日になんで、「災害についてのクイズ」が出されました。本校に設置してある消火器の数、避難する際の服装、避難時の合い言葉「おかしも」などについて、クイズが出され、わかりやすく説明がなされました。

学習部は、今月の目標を「ノー・チャイムデーを実践し、時計を見て行動する」と設定し、「G…学力高める 時間の管理」を実践してくれています。また、それに加え「タブレット学習(ミライシード)を活用した朝学習と月1満点テスト」の取組を、今月から始めました。生徒自身が学習に向かう意識と基礎学力を高めるといふこの素晴らしい実践には、大いに期待するものがあります。

東脊振中の実り多い2学期のために、生徒の主体的な取組が本校の強みとなり、未来へ羽ばたく原動力となるものと確信しています。

性に関する教育

9月7日



9月7日(火)、2年生を対象に「性に関する教育」を行いました。今回は県の支援指導事業として、佐賀県医療センター好生館の野口奈津助産師を講師にお招きして実施しました。助産師からの提案により、パソコン室からのリモート授業を行っていただきましたが、各教室で生徒は真剣に、話を聞いていたようです。

助産師は、生命の尊さや素晴らしさを基調にして、男女の性の違い、中学生の交際、性の多様性について話をされました。

以下は、生徒の感想です。

「今日話を聞いて、私は出産するまでも出産する時もすごく怖いと思っていたけど、怖いこともあるけど出産を終えて赤ちゃんの顔を見ると、今までの怖かったことがすぐに頭の中から消えて、幸せな気持ちになるんだらうなと思いました。」

東中生みんなで頑張る

HGS!

H…表情豊かに よい挨拶!
G…学力高める 時間の管理!
S…精一杯の 自問清掃!



感染症対策

正面玄関にサーモグラフィー・カメラを設置しました。前に立つとパッと体温が表示される優れたものです。消毒液と合わせて、来客用に活躍しています。感染防止対策の予算で購入させていただきました。

マスク着用、喚起、距離、検温、消毒などに留意し、今後も油断なく教育活動を行います。



コロナに負けずに価値ある体験を 校外研修 職場体験 一日旅行



〔事業所:タイムカプセル、丸安、ラーメンむさし、自衛隊、三好木工、ローソン吉野ヶ里店、児島段ボール工場、アスタラビスタ、さざんか園、麺食房たけひろ、ミニストップ鳥ノ隈店、神埼消防署、チナツ洋菓子店、スーパーモリナガ吉野ヶ里店、松本農園、牟田建設、オフィス・タカハシ、吉野ヶ里歴史公園、Hair & Make Chou Chou (敬称略)〕



8月 17日付けの文部科学省事務連絡では、「地域の感染状況をふまえ、学習活動を工夫しながら、可能な限り、学校行事や部活動を含めた学校教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障していくことが重要」と、教育活動の工夫と継続が促されていました。

しかし、8月下旬の感染拡大と佐賀県内での「まん延防止等重点措置」の適用は、行事の実施に大きな影響を及ぼしました。

1年生は、玄海町波戸岬少年自然の家で、1泊2日の宿泊訓練の予定でした。しかし、子どもたちの安全とご家庭の安心を優先し、日帰りに内容を縮小して実施しました。午前中は雨のため、フィールド・ビンゴをインドア・ビンゴに変更しましたが、**午後は天気になりカッター活動**ができて良かったです。生徒は、「**今回培ったチームワークや協力の精神を、今後の学校生活に生かしたいです。**」とっていました。

2年生は、職場体験学習の予定でした。有り難いことに町内外の18の事業所から2日間受け入れの承諾をいただいていたのですが、規模と内容の縮小を余儀なくされました。不特定多数の人との接触を避けるために、体験の代わりに見学とインタビューに変更させてもらった事業所もありました。しかし、多くの事業所から「**生徒は一生懸命に仕事をしてくれています。**」とお褒めの言葉を頂き、大変嬉しく思いました。急な変更にもかかわらず丁寧な対応を頂いた、以下の事業所の皆様に、深く感謝申し上げます。



3年生の修学旅行は、南九州へ変更していましたが、県内での実施に切り替えざるを得ませんでした。さらに、唐津市での体験活動や宿泊をなくし、鹿島市でのミニ・ガタリンピックも閉鎖となってしまいました。

急遽の一日研修への変更にもかかわらず、生徒たちは有田ポーセリンパークでの手びねり体験に、積極的に取り組んでいました。カップ、湯飲み、皿、一輪挿しなど、**アイデア満載の「オリジナル有田焼き」**ができあがってくるのが楽しみです。

ホテル・グランデはがくれでのテーブル・マナー講座では、フランス流やイギリス流のテーブル・マナーの話聞きながら、ちょっと緊張しながらも、ナイフとフォークを上手に操っていました。**社会に出てからもこの体験は生かされること**でしょう。

家庭教育学級

9月10日



9月10日は、授業参観(ふれあい道徳)を中止し、家庭教育学級の実施のみとしました。参加数によってはリモートによる講演も計画していましたが、距離を取って体育館で実施することができました。

今回の講師は、本町に新たに進出された**タイムカプセル社**の代表取締役である相澤謙一郎氏です。全国9カ所に拠点を置き、**アプリ開発と人材育成による地域の活性化**を目指しているとのことでした。「中3でマシン言語に挫折し、高校でアスリート(ハンドボール)の夢破れたが、現在アプリの開発でスポーツと関わる夢を実現している。」と人生を熱く語られました。簡単なプログラミングの例や仕事への考え方に、生徒は熱心に耳を傾けていました。

